



9月園だより

令和6年 9月 2日
目黒区立原町保育園園長

玄関ホールに新たに設置した絵本コーナーが賑わっています。お迎えの際、「今日は、何借りる?」「恐竜の本」等子どもと保護者の方とのやりとりが聞こえてきます。嬉しそうに抱えて帰る姿を見て帰宅してからの家での様子を想像してほっこりします。絵本に向き合うひととき、保護者の方に読み聞かせてもらいゆったりした声やふれあいを楽しむ子もいれば、図鑑を広げて好きなものを自分でじっくり見る子もいることでしょう。絵本は、自分の経験したことではないことも頭の中で自由に想像し膨らませていく楽しさや言葉の面白さを伝えてくれるものです。絵本を通して親子時間を楽しんでもらえるように絵本コーナーの充実を図っていきたいと思います。各クラス前に人気絵本の紹介を掲示してありますのでご覧ください。

この夏は、水遊び・プールをたくさんすることができました。遊びはじめた頃は、躊躇していた姿も経験を重ねることで水の楽しさ、気持ちよさ、不思議さを味わい大胆に水しぶきをあげて楽しめるようになってきました。幼児クラスは、プールじまいで一人ひとりのがんばりを認め合いメダルをもらいました。この達成感が次のやる気につながります。期間中の健康チェック、支度等ご協力ありがとうございました。引き続き、シャワーの用意等お願いします。

9月の予定

- * 引き取り訓練
- * 運動会幼児練習
- * 上旬 身体計測
- * 下旬 避難訓練

〈お知らせ〉

来月は運動会があります。
2・3・4・5歳児クラスが
対象です。詳細は、後日お知
らせを配布します。



～稲の収穫に向けて～ くすのき組（5歳児クラス）



園庭で栽培している稲の様子を見ると「すごい大きくなって」「肩くらいの高さになってるよ」と生長を実感して大喜びしていました。「このツブツブって何?」と気づいた子がいたので「これは穂で、この中にお米が入っているんだよ」と知らせると一斉に穂を探して見っていました。「早くお米食べたいな～」と今から楽しみにしている姿もあり、今後も稲の世話を続け、お米ができたらどうやって食べるかみんなで相談したいと思います。

楽しかったプール、水遊び～ 3. 4. 5歳児クラス～

『 たのしい! 』 さくら組 (3歳児クラス)

プール開きの前から、プールに入ることを楽しみにしていた子どもたち。プールに入るときの約束ごとを確認する中で「ごはんたべてきた」「はやく、ほいくえんきた」など約束を思い出して守ろうとする姿もありました。水着を着ることも嬉しいようで、「このみずぎもってきたの」とプールを心待ちにしていました。プールに入ると「つめたい」「きもちいい」と冷たさを全身で感じたり、自分の体に水をかけると楽しさから笑顔が満開です。アヒルや犬、馬、カニなどになりきって、腰まで水につけたり、四つ這いやワニ泳ぎなどを繰り返し楽しみました。底に手をつけて座るとお尻が浮き上がり「ういた」と発見や不思議を味わったり、そこから「ラッコみたい」とイメージして泳ぐ子、「みてみて、ねこちゃんみたい」「ガーガー」と鳴きまねや仕草を真似てなりきり、プールの散歩を楽しんでいました。水に入ることに慎重な子ども、遊ぶ中でプールの底に手をつけてみたり、お腹まで水に入ってみるなど挑戦しようとする姿や、あごや鼻先を水につけたり水しぶきをあげてダイナミックに楽しむ子など、プールでの遊びを通して、できたことが喜びや嬉しさになり、“もっとやってみよう”と挑戦する気持ちや意欲につながった夏のプールあそびでした。



『 やってみたい 』 ぽぷら組 (4歳児クラス)

今年もプール始まるからねと子どもたちに話をすると、去年のプール遊びで楽しかったことを思い出して嬉しそうにしていました。ワニ泳ぎでは自分で両足を真すぐに伸ばすと、フープをくぐりながら進んでみたり、力強くバタ足をして楽しんでいます。水に顔を付けることを怖がっていた子どもたちも、友達がイルカジャンプをして水に潜っていく姿を見て「やってみたい」とチャレンジすることも増えてきました。頑張っている友達を見て「〇〇くん、すごいね」と声を掛け合う姿もありました。プールの底に沈んでいる貝殻の宝探しでは「今日は黄色の貝殻、見つけるの」とお目当ての貝殻を見定めると、息を大きく吸ってから口をしっかりと閉じて水の中に探しに向かっています。お目当ての貝殻を手にとると「やった、見つけたよ」と嬉しそうです。友達と一緒にプール遊びを楽しんだり、自分からやってみたいと勇気を出して頑張ったことが自信に繋がり、心も体も大きく成長したひと夏です。



『 できた! もっとできるようになりたい 』

くすのき組 (5歳児クラス)



くすのき組は『けのび』を目標に、水中で脱力して浮く、水中で目を開けるなど新しいことに少しずつ挑戦してきました。水中で目を開けることや、けのびができるようになった友達の姿が良い刺激になり『自分もできるようになりたい』と自分からやってみる姿が多くなりました。でも、苦戦することも中々うまくいかない場面もあります。繰り返し挑戦する中でできるようになってきたことに気付いた友達や保育士が、「あ! できるようになってる!」「〇〇ちゃん、目、開いてる!」と声をかけたり一緒に喜びと、とても嬉しそうに笑っていて、更に意欲が増えて次のステップにチャレンジしていました。また、『浮く物と沈む物』を自分なりに考えてプールで実際に試したことをきっかけに、乗って浮く玩具を作りました。乗ってみると、うまく浮けずに全員水に落ちてしまい「どうしたら長く浮けるか」「壊れないようにするにはどうすると良いか?」と考えて作り直しました。試行錯誤を繰り返し、ペットボトルで舟を作って遂に乗ることができると「浮いた!!」とみんなで喜んでいました。プール活動を通して新たなことに挑戦したり、考えて試して遊ぶ中で感じた満足感や自信を今後の活動にも繋げていきたいと思えます。